

国土交通省総合政策局
情報政策課交通経済統計調査室
平成26年6月4日(水)公表

トラック輸送情報

平成26年3月分

平成26年4月分は平成26年7月上旬公表予定

*問い合わせ先

国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室

電話 03-5253-8111 F A X 03-5253-1567

担当 浜田、桑原 内線 28-723

この調査報告の概要は、国土交通省ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

トラック輸送情報（平成26年3月分）

平成26年6月4日

総合政策局 情報政策課 交通経済統計調査室

担当：浜田、桑原 内線28723

直通：03-5253-8346

<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の概況

調査対象24社の本月の輸送量は、6,101,874トンで、前月と比べ総輸送量が約960千トン増加したため、前月比118.7%（季節調整済み103.5%）となり、前年同月との比較では、約558千トン増加したため、前年同月比110.1%の実績であった。

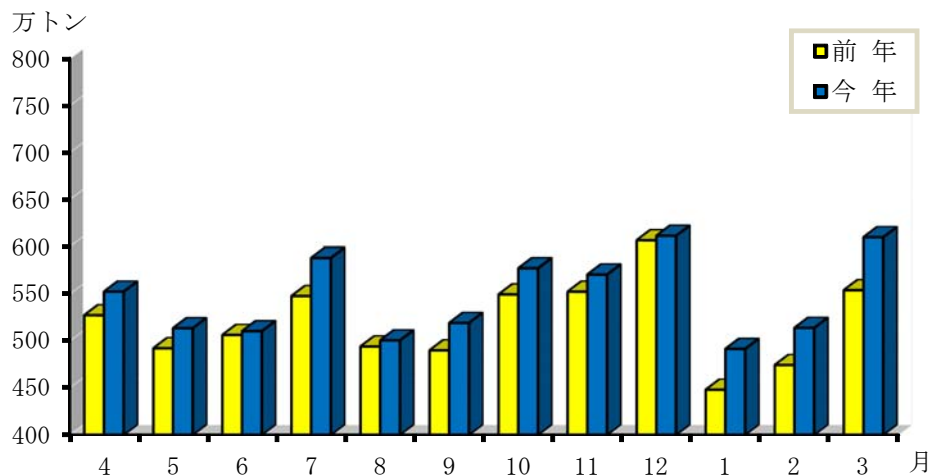
なお、平均稼働日数は23.9日で、前月と比べ1.4日増加し、前年同月との比較では、0.2日減少であった。稼働1日当たりの輸送量は、255,309トンで、前月と比べ約27千トン増加したため、前月比111.7%となり、前年同月との比較では、約25千トン増加したため、前年同月比111.0%の実績であった。

（図1-1、図1-2参照）

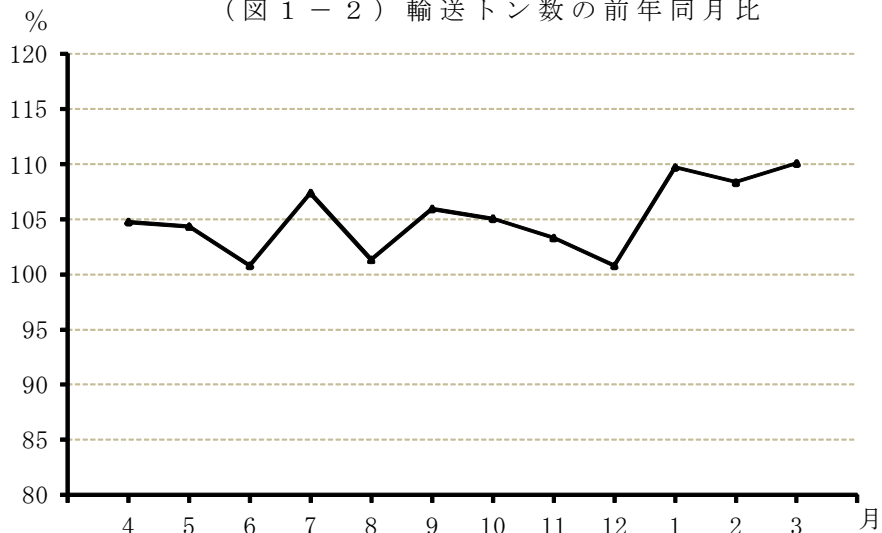
注）平成25年2月から貨物輸送の調査対象については、24社となった。

前月比及び前年同月比は、24社ベースで比較している（図1-1及び図1-2は24社ベースで作成）。

（図1-1）輸送トン数の推移



（図1-2）輸送トン数の前年同月比

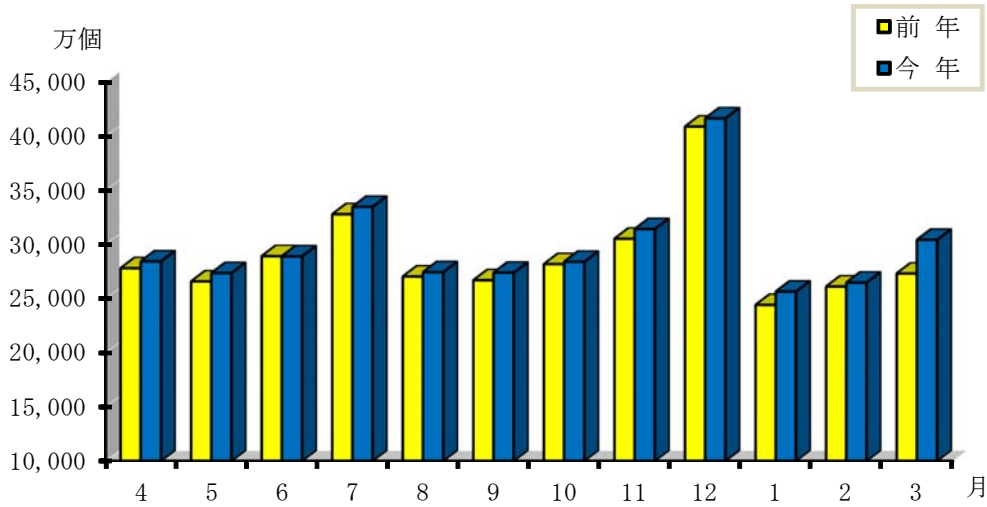


(2) 宅配便の概況

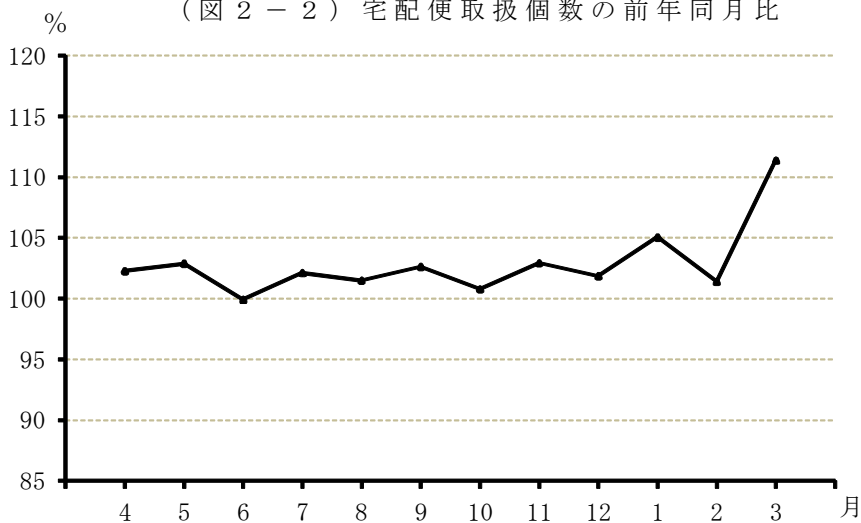
調査対象 14 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、約 304,463 千個で、前月と比べ 約 39,512 千個増加したため、前月比 114.9% (季節調整済み 107.9%) となり、前年同月との比較では、約 31,081 千個増加したため、前年同月比 111.4% の実績であった。

(図 2-1、図 2-2 参照)

(図 2-1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2-2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

調査対象 25 社(24 社及び品目別・地域別輸送状況回答 1 社)は、前月と比べると、全ての品目において、輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。増加要因としては、工場・生産地からの貨物増が「農水産品」、「その他」を除く品目に共通して見られたほか、倉庫から出る貨物増が「機械」、「化学工業品」、「食料工業品」で、季節的需要増が「日用品」、「その他」で見られた。主な増加地域については、関東地方から中国の範囲で増加したと回答する事業者が多かった。

前年同月と比べると、全ての品目において、輸送量が増加したと回答する事業者が多かった。増加要因は、工場・生産地からの貨物増が「農水産品」、「日用品」、「その他」を除く品目で見られたほか、倉庫から出る貨物増が「化学工業品」、「日用品」で見られた。主な増加地域は、関東地方、北陸信越、近畿地方であった。

(表1) 品目別増減状況 (回答事業者数 25社)

品目	増減事業者数					主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	※ 増減要因
	著 増	増	変 ら ず	減	著 減			
前 月 に 比 べ て	農水産品	1	4	13				
	金属製品		8	13		その他の金属製品	関東、愛知、近畿、中国	4
	機 械	1	8	11			神奈川、関東、愛知、大阪、近畿	4, 7
	化学工業品	4	10	8		合成樹脂、その他の化学工業品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7
	繊維工業品	2	7	13			神奈川、関東、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4
	食料工業品	6	5	9		製造食品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7
	日 用 品	7	8	7		書籍・印刷物、その他の日用品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 8
	そ の 他	6	4	10		その他(百貨店配送品、引越関連)		8
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品	1	2	12	2			
	金属製品	3	4	11	2	その他の金属製品	関東、北陸信越	4
	機 械	2	4	11	2		大阪	4
	化学工業品	1	7	11	2		関東地方、北陸信越、中部、近畿地方	4, 7
	繊維工業品	1	5	14	1		神奈川、関東、北陸信越、大阪	4
	食料工業品	2	5	11	1	製造食品	神奈川	4
	日 用 品	3	5	11	1		関東、近畿	7
	そ の 他	2	4	8	3	1		

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらを除く府県、九州は沖縄を含む)]単位である。
なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

※ 増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者(本月の回答事業者758社/調査対象事業者数1,047社)の輸送量は、前月比 107.3%、前年同月比 104.4%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全 国	北海道	東 北	関 東	北 信	陸 越	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	沖 縄
前年同月比	104.4 %	104.2 %	105.7 %	102.2 %	102.2 %	104.9 %	104.5 %	102.5 %	111.7 %	102.1 %	101.0 %	
前 月 比	107.3 %	99.2 %	111.0 %	107.3 %	111.6 %	108.9 %	113.2 %	108.9 %	114.3 %	110.9 %	120.0 %	

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況 (各運輸局より回答のあったもの)

北海道	<p>本月の輸送については、対前月比99.2%、対前年同月比104.2%であった。品目別では、季節的需要増により「木材」、「化学肥料」、食料工業品、「取り合わせ品」が、工場・生産地からの貨物増により「木材」が、また、「鉄鋼」、「日用品」、「動植物性飼・肥料」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、建設関連の需要減により「砂利・砂・石材」が、工場・生産地からの貨物減により「その他の農産品」が、季節的需要減や天候の影響により「廃棄物」が、また、「セメント」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送については、対前月比111.0%、対前年同月比105.7%であった。品目別では、景気の影響による貨物増により「穀物」、「砂利・砂・石材」、「食料工業品」が、また、「木材」、「セメント」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、季節的需要減により「野菜・果物」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。本月の輸送に対しては、消費税増税前の駆け込み需要増加の影響ありと見る向きがあり、今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送については、対前月比107.3%、対前年同月比102.2%であった。品目別では、「金属鉱」、「機械」、「取り合せ品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、天候の影響により「食料工業品」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送については、対前月比111.6%、対前年同月比102.2%であった。品目別では、季節的需要増により「水産品」、「金属製品」、「その他の化学工業品」、「取り合せ品」が、また、「木材」、「日用品」、「廃棄物」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送については、対前月比108.9%、対前年同月比104.9%であった。品目別では、景気の影響による貨物増により「機械」が、また、「セメント」、「紙・パルプ」、「その他の製造工業品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送については、対前月比113.2%、対前年同月比104.5%であった。品目別では、消費税率引き上げ前の需要の増加、季節的需要の増加により「金属製品」、「食料工業品」、「日用品」が、引越荷物の増加による「取り合わせ品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、年度末需要及び消費税率引き上げ前の需要増に対する反動により次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送については、対前月比108.9%、対前年同月比102.5%であった。品目別では、景気の影響による貨物増により「木材」、「鉄鋼」、「機械」、「揮発油」、「化学肥料」、「食料工業品」、「日用品」が、季節的需要増により「木材」、「機械」、「化学肥料」、「取り合せ品」が、工場・生産地からの貨物増により「食料工業品」、「廃棄物」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送については、対前月比114.3%、対前年同月比111.7%であった。品目別では、季節的需要増により「野菜・果物」、「その他の石油製品」、「紙・パルプ」が、建設関連の需要増により「鉄鋼」、「機械」、「廃棄物」が、工場・生産地からの貨物増により「工業用非金属鉱物」、「機械」、「その他の石油製品」、「紙・パルプ」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送については、対前月比110.9%、対前年同月比102.1%であった。品目別では、季節的需要増により「野菜・果物」、「鉄鋼」、「機械」、「取り合せ品」が、景気の影響による貨物増により「鉄鋼」、「化学肥料」、「食料工業品」、「日用品」が、建設関連の需要増により「砂利・砂・石材」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送については、対前月比120.0%、対前年同月比101.0%であった。品目別では、季節的需要増により「その他の農産品」、「日用品」、「取り合せ品」が、また、「鉄鋼」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月及び以降とも減少傾向が予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況（対前月比）

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局		北	東	関	北	中	近	中	四	九	沖	全
		海	道	北	東	陸	信	部	畿	国	国	州	縄	計
1. 穀物	増			4				1		1	2	1		9
	減			2										2
2. 野菜・果物	増						1			1	6	7		15
	減			2										2
3. その他の農産品	増											1	2	3
	減	4						1						5
4. 畜産品	増	1								1		1		3
	減													
5. 水産品	増			1		2					1			4
	減	1	1							1				3
6. 木材	増	5	4			4			1	5	1	2	1	23
	減									1		1	1	3
7. 薪炭	増													
	減													
8. 石炭	増													
	減									1				1
9. 金属鉱物	増				1									1
	減													
10. 砂利・砂・石材	増	1	2			1	1			2	2	5		14
	減	8								2	1	2		13
11. 工業用非金属鉱物	増	2	1							1	2			6
	減	2	2											4
12. 鉄鋼	増	2	1			1				4	4	4	2	18
	減		1											1
13. 非鉄金属	増		1			1		1	1					4
	減													
14. 金属製品	増	1	1			5	1	5	1	3	1			18
	減		1					1	1					3
15. 機械	増	1	1	1	2	6	1	3	6	4	1			26
	減						1			1	1			3
16. セメント	増	1	3			2		1	1	2				10
	減	3	1		1			1		1				7
17. その他の窯業品	増					1	1		1	1				4
	減											1		1

運輸局		北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
		品目										
18.揮発油	増		1		1			2	1			5
	減											
19.その他の石油製品	増	2	2		1			2	2			9
	減	3			1			1				5
20.コークス・その他の石炭製品	増											
	減											
21.化学薬品	増	1	1				1					3
	減	1										1
22.化学肥料	増	5	1		1			3		2		12
	減								1			1
23.その他の化学工業品	増		1		2	1	1	2	1	1		9
	減							1				1
24.紙・パルプ	増		2		1	2	2	1	4	2	1	15
	減	1							1	2		4
25.繊維工業品	増				1				1			2
	減											
26.食料工業品	増	3	5		1		4	4	2	6	1	26
	減			1	1		1		1			4
27.日用品	増	2	2		2		3	5		4	2	20
	減		1									1
28.その他の製造工業品	増		1			2		1	1	2		7
	減		1					1				2
29.金属くず	増											
	減										1	1
30.その他のくずもの	増								1			1
	減								1			1
31.動植物性飼・肥料	増	2	2		1				1	1		7
	減									1		1
32.廃棄物	増	1	3		2			4	2	2		14
	減	8										8
33.輸送用容器	増											
	減								1			1
34.取り合せ品	増	2	2	1	4		1	5		2	2	19
	減							1				1
35.その他	増	1	7	8	5		6	4	2	7		40
	減	5	2		2	1	1	1		1		13